

令和５年度（第３７回）プレス検査業者災害防止協議会総会議事録

- 1 日 時 令和５年６月９日（金） １５：００～１７：００
- 2 会 場 仏教伝道センタービル ８階 和の間
- 3 出席会員 出席 ９会員、 委任状 ４９会員 合計 ５８会員
- 4 議 事 第１号議案 令和４年度事業報告(案)及び決算報告(案)について
第２号議案 令和５年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
第３号議案 役員の改選について
その他

５ 議事内容

（１）総会成立の報告

司会（事務局・中央労働災害防止協会（以下「中災防」という。））技術支援部小島課長から、令和５年６月９日現在での会員数７９会員のうち、本日の出席は９会員、委任状提出は４９会員、合計で５８会員となり、プレス検査業者災害防止協議会規約（以下「規約」という。）第１７条による総会成立要件の過半数を満たし、総会が成立していることが報告された。

（２）開会挨拶

小森 雅裕 会長から、開会挨拶があった。

（３）議長の選出

規約第１５条により、小森会長が議長として選出された。

（４）議事録署名人の指名

規約第１８条により、議事録署名人として、議長に加えて株式会社メガテック 中村 昌吾 幹事が議長から指名された。

（５）第１号議案 令和４年度事業報告及び決算報告について

事務局（中災防技術支援部 青木専門役）から資料に基づき、令和４年度事業報告(案)及び決算報告(案)について説明した。

(6) 会計監査報告について

会計監査の結果について、プレスメンテナンス株式会社 佐々木 信吾 会計監査から経理について適正に処理されていた旨報告された。

この後、議長から第1号議案について会計監査結果を含め意見・質問等を求めた後、これらを一括して諮ったところ、異議なく承認された。

(7) 第2号議案 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

事務局から資料に基づき、令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について説明した。

この後、議長から第2号議案に関して意見・質問等を求めた後、諮ったところ、異議なく承認された。

(8) 第3号議案 役員改選について

事務局が資料に基づき、令和5年度の役員候補について説明した。

この後、議長から第3号議案について意見・質問等を求めた後、諮ったところ、異議なく承認された。

(9) 内部指導結果等について

事務局（中島相談役）から、令和4年度に実施した会員業者に対する内部指導結果の説明があった。

事務局(青木専門役)から、旧構造規格対応プレスの安全化提案書作成などに続く新たな事業の検討のための事業委員会の設置について、さらに、西日本地域のプレス検査業者を会員とする日本フルハッププレス検査業者災害防止協議会との緩やかな連携関係を取っていくことについての説明があった。

(10) 来賓挨拶

- ・ 日本フルハッププレス検査業者災害防止協議会の 那須 部長及び南 会長代行から挨拶をいただいた。今後、東日本と西日本で協力し、労働災害防止に努めていきたいと述べられた。
- ・ 中央労働災害防止協会 吉永 和生 専務理事から挨拶をいただいた。吉永専務からは、プレス特自検研修の開催やプレス機械関連図書の発行、令和5年度に

おかれては特定自主検査マニュアルやチェックリストなどについて委員会を設けて審議を進めている等、協力いただいていることへの謝辞、プレス機械の適正な検査によるプレス災害防止への尽力に敬意を表するとともに、既存不適合なプレス機械への安全化をユーザー事業場に呼び掛ける取組や日本フルハップにおいて組織されているプレス検査業者災害防止協議会と連携してプレス災害防止を進める取組が始まることを大変意義あるものと述べられた。

・ 続いて、厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課 牧 宣彰 副主任中央産業安全専門官から挨拶をいただいた。牧副主任からは、令和4年の労働災害発生状況が確定し、新型コロナウイルス感染症にり患した方を除き、死亡者は774人、休業4日以上は13万人を超えているという厳しい状況にあること、死亡者では墜落・転落災害が増加し、死傷者では労働者の作業行動に起因している災害が増加しているから、第14次労働災害防止計画に基づく施策を着実に推進するための不断なる覚悟が必要であり、「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場」をスローガンに令和5年度の安全週間を進めることにしているので協力をお願いすること、プレス機械を起因物とする災害が475件に上りその9割が挟まれ巻き込まれ災害であることから、プレス機械による災害防止へ引き続き協力いただきたいと述べられた。

議事録署名人 _____ 印

_____ 印